第２８回全十勝小中学生新聞スクラップコンクール

講　　　評

豊頃町立豊頃小学校　森田　昌宏

今年度の新聞スクラップコンクール「小学生の部」では、１年生から６年生まで合計１２８点、「中学生の部」では、１年生から３年生まで合計１９点、計１４７点の応募がありました。

さて、作品についてですが、継続的に取り組まれたものが多く、６冊にも及ぶ作品が見られました。その努力に敬意を表します。最初に取り組んでいたものよりも、後半になるにつれて、要約する力がついてまとめ方が上手になったり、新聞を貼るレイアウトや見出しを工夫しわかりやすくなったりと、成長を感じることができました。また、どの作品も楽しんで取り組んでいる様子がうかがえ、審査に大変苦労しました。

「小学生の部」では、日付、新聞名、要約、感想がしっかりと書かれているなど、レベルが高い作品が多くみられました。また、自分で考えた見出しをつけたり、枠やイラストを描いたりしながら楽しく取り組んでいる様子がうかがえました。記事にサイドラインを引いて要約したり、自分でタブレットを活用し調べたことをまとめたりするなど、自ら発展的な学習に取り組んでいた作品もありました。一年間継続して取り組んでいる作品はとても読みごたえがあり、他の見本となるものでした。

「中学生の部」では、残念ながら、昨年より応募作品が少なくなってしまいました。しかし、じっくりと新聞記事を読み、理解し、自分の考えをしっかりと書いている作品が多く、審査するのに苦労しました。中学生らしく、色使いやレイアウト等を工夫し、新聞記事の要約も端的で、自分の考えをしっかりと書いている作品が多くありました。スクラップの初めにテーマについて動機、最後に全体のまとめとして、スクラップを終えての感想や学んだことなどが書いてあり、小学生の皆さんの参考になると思います。

新聞スクラップをする上で一番大切なことは、新聞記事から必要な情報を読み取り、それに対して自分の考えを分かりやすく書くことです。さらに、新聞の中で気になった事柄や言葉などについて調べてみたり、そこから違う記事へ広げたりすると、内容がぐっと濃くなります。

子どもの読解力の低下が危惧されています。新聞を読むことは、その課題を解決するための一つの方法になるかもしれません。新聞は、今その時の社会の話題がぎゅっと詰まっているだけでなく、正確な情報や言葉でつくられている、とても優れた読み物です。ぜひ身近に新聞を置いて、ページをめくり、気になった記事を切り取って集めてみてください。きっとあなたも、スクラップしてみたくなることでしょう。

最後に、コメントを丁寧に書かれるなど指導していただいた先生方、支えていただきました保護者の皆様に感謝申し上げます。ありがとうございました。